



新潟県

教育月報 11月号

第859号

令和3年11月1日発行

編集人、発行人

新潟県教育委員会

<今月号の記事>

		対象校種
1 : 教育ニュースライン	----- P 1	全種
2 : 令和3年度末・令和4年度初 人事異動について	----- P 2 ~ 5	全種
3 : 御活用ください！児童・生徒へのバリアフリー読書サービス	----- P 6 ~ 7	全種
4 : 令和3年度全国高等学校総合体育大会 「輝け君の汗と涙 北信越総体 2021」開催報告	----- P 8 ~ 9	全種
5 : インフォメーション	----- P 10	全種

教育ニュースライン

県教育に関する最新ニュースをお知らせします。

令和3年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞しました

文部科学省では、PTAの健全な育成と発展に資することを目的として、毎年、優秀な実績を上げているPTAの表彰を行っています。

このたび、本年度の優良PTA団体が決定し、本県からは、5つの団体が受賞しました。

【被表彰団体】

1 阿賀野市立京ヶ瀬中学校PTA

地域への門松贈呈や福祉体験活動など、家庭・地域・学校の三者で協力し、生徒の学校内外での活動を支援しました。

2 上越市立板倉中学校PTA

修学旅行が実施できなかった生徒のために、PTAと地域関係者が連携し、勤労生産活動とレクリエーション活動等、思い出に残る活動を実施しました。

3 刈羽村立刈羽小学校PTA

月1回の全村あいさつ運動を地域、保護者、小中学校で実施し、子どもを軸とした地域内のコミュニケーションづくりに貢献しました。

4 新潟市立上所小学校PTA

新潟市GIGAスクールパイロット校として、子どもたちの学びをさらに促進

させるため、iPad用のスタイラスペンをPTAで購入し、環境整備を支援しました。

5 県立長岡大手高等学校PTA

電子黒板やWi-Fi環境の整備を支援し、県外の企業や海外の生徒との交流促進に貢献したほか、PTA総会の会場分散等にも、有効活用しました。

令和3年度にいがた生涯学習県民フォーラム2021を開催しました

生涯学び活躍できる循環型生涯学習社会の実現に向け、学びの幅を広げ、自ら進んで学ぶことの楽しさや大切さを伝えるため、10月3日(日)に、にいがた生涯学習県民フォーラム2021を開催しました。

いきいき県民カレッジ表彰式・成果活用報告を県立生涯学習推進センターホールで行い、3つの講演会(家庭教育講演会、社会教育関係者スキルアップ講演会、社会人の学び直しに関する講演会)はオンラインで実施しました。



【社会人の学び直し講演会の様子】

令和3年度末・4年度初 人事異動について

義務教育課・高等学校教育課

地域の特色を生かし、地域とともに歩む学校づくりに向けて 義務教育課

はじめに

県内のすべての子どもが等しく質の高い教育を受けるためには、勤務年数や専門性、教員免許状の種類等、均衡のとれた教職員の配置が必要です。しかし、教員の住居が都市部に集まる傾向があり、教員確保困難地域における経験豊富な教員の確保は、県の教育水準を維持・向上させるために重要な課題です。

県教育委員会では、以下の人事異動のポイントをふまえ、全県的な視野に立って、適材適所の配置に努めます。

令和3年度末・4年度初のポイント

県の課題解決のために、

- (1) C地域又はD地域への異動に当たり、自宅のある地域とは異なる地域に勤務することをさらに積極的に進めます。
- (2) 教員確保困難地域での中堅教員等の確保に努めます。

異動基準

1 市町村立義務教育諸学校教職員の転配置

A地域は「自宅から25km未満」です。A地域以外のひら場をC地域、へき地をD地域とします。C地域又はD地域への異動に当たり、25kmを大きく超える地域への配置を引き続き積極的に進めます。年齢区分に応じた勤務地経験は以下のとおりです。

表1 教諭・養護教諭・栄養教諭・学校栄養職員・事務職員

年齢区分	勤務地
採用後6年間 (原則として2か校目まで)	C地域又はD地域1回以上
3か校目以後	45歳までにC地域又はD地域1回

表2 「特別支援学校教諭採用枠」採用者

年齢区分	勤務地
採用後6年間 (原則として2か校目まで)	①原則として、特別支援学校に配置する。 ②C地域又はD地域1回以上
3か校目以後	①C地域又はD地域1回 ②小・中学校の特別支援学級、通級指導教室等へ1回 ※45歳までに①②を共に経験

※表中の「1回」とは3年以上の勤務をいいます。

2 計画的な転配置

教員は、原則として同一校に3年以上勤務するものとし、それ以後、県教育委員会が、異動が適当と認める者については、「異動基準」により計画的に転配置します。

勤務3か校目以後、同一校に3年又は4年勤務した者は、異動希望の有無等を勘案して転配置します。また、5年勤務した者は、原則として転配置します。6年目に学校の事情によって残留する場合は、申請書の提出を求めます。

3 県立特別支援学校教員の転配置

異動基準は、市町村立義務教育諸学校教職員に準じます。

4 県立特別支援学校寄宿舎指導員及び実習助手の転配置

県内を上越・中越・下越（新潟市を含む）に分け、地区内での異動を原則とします。また、採用も地区単位での採用となります。



5 障害者手帳の交付を受けている教職員の転配置

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている教職員は、原則、すべてA地域勤務とします。

異動方針達成の方法

専門性、性別、年齢、勤務年数、所有する教員免許状の種類等に配慮し、地域、学校間に不均衡が生じないように転配置に努めます。

(1) 「自宅」の精査

採用後6年間の勤務後にC地域又はD地域勤務が複数回ある場合は、自宅の精査により、勤務地区分を見直す場合があります。

(2) 新採用者の計画的な転配置

採用後6年間の勤務校については、原則として1か校3年間の勤務を2か校行い、C地域又はD地域1回以上とします。

(3) 全県的視野に立った人事交流の促進

原則として、採用後6年間の勤務後はA地域での勤務を基本とします。ただし、45歳までにC地域又はD地域に1回、転配置します。

(4) 教員確保困難地域での中堅教員の確保

教員確保困難地域での勤務を希望する中堅教員を㊤登録者として積極的に募集し、配置します。異動希望地区は、上越、中越、下越(佐渡を除く)、佐渡の4地区(希望は2地区まで選択可能)です。平成28年4月1日以降の㊤経験者のうち、40歳以上の者は、教頭選考検査の筆答検査を免除します。

㊤登録の希望者は、所属長に申し出てください。

(5) 校種間の人事交流の促進

① 免許状所有者の積極的な転配置

小・中学校間及び小・中学校と特別支援学校間において、異校種の当該免許状を所有している者を、一般異動として異校種に積極的に転配置します。

② 小・中学校と特別支援学校間の交流

小・中学校と特別支援学校間で、3年間を原則として、異校種に勤務する経験をす

ることにより、特別支援教育のリーダー育成に資することを目指します(㊤登録)。

3年間の勤務後は、元の校種に配置します。

(6) 通級指導教室担当者の育成

小・中学校及び特別支援学校に在籍し、言語障害・難聴通級指導教室に継続的に携わる意欲のある者を、言語障害・難聴通級指導教室の担当者が在籍する学校に1年間配置し、OJT方式で育成します(㊤登録)。育成期間終了後は、指導を受けた学校を含む当該市町村の言語障害・難聴通級指導教室のある学校に3年以上勤務するものとします。

(7) 公募制による教職員人事

市町村教育委員会及び県立学校で取り組んでいる特色ある教育活動等を推進するため、自らの専門性やこれまでの経験を生かし、中心となって取り組む意欲ある適任者を、新潟市を含む全県から広く募集し配置します。

また、県の教職員が、新潟市教育委員会の公募に応募できるようにします。

(8) 再任用

再任用短時間勤務の割振りパターンは以下のとおりです。

① 1日7時間45分×3日間【週3日勤務】

② 1日5時間49分×4日間【週4日勤務】
※5時間48分を1日含む。

③ 1日4時間39分×5日間【週5日勤務】

再任用短時間勤務は、各学校が定める勤務時間の範囲内に割り振るものとします。

(9) 県と新潟市との人事異動

研修交流等を中心とした新潟市との人事交流を継続します。平成27年度に導入した「新潟市への人事異動登録票」の登録者については、新潟市への異動が今年度末で完了する予定です。

おわりに

県内どの地域においても、地域の特色を生かし、地域とともに歩む学校づくりが進められるよう、今年度の異動方針・異動基準の下、公正かつ厳正な人事異動を実施してまいります。

「特色ある学校づくり」を進めるために 高等学校教育課

はじめに

各学校では「特色ある学校づくり」に向けた取組が行われていますが、このような取組を推進するためには、学校の運営体制をより充実させるとともに、教職員一人一人の成長を図る必要があります。

そこで、高等学校教育課では、以下の人事異動方針・基準に沿って、計画的かつ適切な教職員配置を行い、教育活動の一層の充実を進めます。

人事異動方針

- 1 優秀な新人を採用・登用し、清新の気風を導入します。
- 2 教職員の適材適所の人事配置に向け、全県の視野からの人事異動を促進します。

今年度の人事異動方針に変更はありません。以下に異動基準及び人事異動の方法等を示します。

異動基準

異動基準を、次の4点について具体的に定め、人事異動を促進します。

- 1 年齢、勤務年数、所有免許状、能力・適性等からみて、適材適所の配置に努めます。
- 2 異なる地域、課程及び学科間の異動を促進します。
- 3 新採用教員については、人材育成の観点から、学校規模、職員構成等を勘案した計画的な配置を行います。
- 4 高等学校と特別支援学校との人事交流については、所有免許状、適性等を考慮して行います。

人事異動の方法

本県高等学校の所在地と学校の課程・学科の分布をもとに、地域と学校群を次のように区分し、人事異動の方法を下のように定めています。なお、今年度は人事異動の活性化を目的として、昨年まで7つに分類していた地域を「県立高校の将来構想」と同じ6地域とし、A群とB群の学校の見直しをしました。

- 全県を6地域に、また、全県の学校をA、Bの2群に区分しています。
- A群は、特別支援学校、地域的特性のある学校とし、B群はそれ以外の学校としています。なお、新潟市立学校、中学校、知事事務局に勤務した者はA群の勤務をした者とみなします。

<人事異動の方法>

- (1) 全県を6地域に区分し、3地域以上を経験する。
- (2) 全県の学校をA、Bの2群に区分し、A、B群をそれぞれ1回以上経験する。
- (3) 新採用後6年間については次のように勤務する。
 - ア 新採用後1校目は2年間の勤務とし、その後2校目に異動する。
 - イ 新採用後2校目は4年間の勤務とし、その後3校目に異動する。
 - ウ 他県の教職経験者等は、上記アの1校目を経験したものとみなし、1校目は4年間の勤務とし、その後2校目に異動する。
- (4) 新採用後3校目以降の者※については、同一校同一課程（以下「現任校」という。）に原則として3年以上勤務した者を異動の対象とする。
※平成16年度以前の採用者については2校目以降の者に適用する。
- (5) 現任校に8年以上引き続き勤務する者は、「特別の事情」の適用等がなければ確実に異動させる。

なお、同一市町村内で長期間勤務している者は他の市町村にある学校に異動させるも



のとしています。

異動方法の特例は定めません。ただし、専門教科・科目等を担当する教諭、実習助手及び養護教諭については、配置できる学校数や1校あたりに配置できる人数等を考慮して、異動させるものとします。

具体的推進方法

1 人事異動調査票について

各教職員が異動に関して、次年度へ向けた決意や目標、自分の考え等を具体的に記載できるようにしてあります。この記載内容は、適材適所の人事配置を行うための重要な資料として活用します。

2 地域と学校群について

教職員一人一人の力量を高めるためには、異なる地域や異なる課程・学科等を幅広く経験することが必要です。また、本県の教育水準の維持・向上と教育の機会均等を確保するためには、広域的人事交流によって、教職員の適正配置を図る必要があります。このことから、人事異動の方法に則り、積極的に人事異動を進めます。

なお、新採用からなるべく早い段階で、3地域以上の経験、並びにA群及びB群の経験ができるよう人事異動を進めます。

3 過員について

少子化に伴う学級減の傾向から、本年度末も、多くの教職員が過員対象となる見込みです。募集学級数の減少など、各校の状況を踏まえて、過員人数・過員教科を決定します。

定数上または教科上の過員は必ず異動させます。

4 本年度の人事異動の重点

- (1) 平成17年度以降の採用者で<人事異動の方法>の(3)に該当する者は異動させます。

- (2) 平成16年度以前の採用者で新採用以来現任校勤務の者は異動させます。

- (3) 実習助手については、新採用以来現任校8年以上の者は異動させます。

- (4) <人事異動の方法>の(5)に該当する者は異動させます。

教職員の再任用について

本格的な高齢化社会の到来に対応し、退職者が培った知識や経験を有効に活用するため、平成25年度末の定年退職者から、新たな制度を設け再任用を実施しています。

再任用教職員については、一般教職員の異動状況を勘案しながら、適正な配置を進めていきますが、再任用教員が増加していることに伴い、複数の再任用教員を配置する学校も増える見込みです。

その他

令和4年度も、教員の資質向上による本県高等学校教育の発展に資することを目的として、期間を原則3年間とし「新潟県知事事務局への出向」「新潟市立高等学校等との人事交流」「県立高等学校教員の中学校への派遣」などを実施します。

令和4年度教員採用選考検査

令和4年度の教員採用選考検査は、国語、社会(地理歴史・公民)、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、英語の各教科において、中・高共通の採用選考検査を実施しました。

今後は、初任校として中学校に配置された教諭が高等学校等に、高等学校に配置された教諭が中学校に異動することがあります。

おわりに

「新潟県立高等学校教職員人事異動方針及び基準」に基づき、適材適所の配置となるよう、厳正・公正かつ積極的な人事異動を行いますので、人事異動に関する一層のご理解をお願いします。

御活用ください！ 児童・生徒へのバリアフリー読書サービス 県立図書館

はじめに

県立図書館では、さまざまな障害により活字による読書が難しいと感じる子どもたちが、本の魅力に触れ、新たな発見や情報と出会う機会を提供するサービスを行っています。

一人一人が自分にあった快適な環境で読書ができ、読書を通してより豊かな生活を送ってもらえることを目指し進めているサービスや、バリアフリー読書の展示会・体験会について御紹介します。

サービスのご案内

1 サピエサービス

本を読み上げた音声データ（音声デジータ図書）などのデータをCD-ROMにダウンロードして貸し出すサービスです。（「サピエ」とは、活字による読書が困難な人に音声データなどで資料を提供するネットワークサービスの名称です。）

学習障害等により活字では本の内容を理解するのが難しい方、身体障害等により本を持ちたりページをめくったりするのが難しい方、視覚障害等により活字を読むことが難しい方などに御利用いただけます。

貸し出しは来館のほか、郵送（無料）でも行います。利用には障害者サービス利用の登録が必要です。

2 団体貸出サービス

活字による読書が困難な児童・生徒向けに、一般図書のほか、サピエサービスを利用したデジータ図書などの資料を学校経由で一括申込みいただけます。利用には団体貸出サービス利用の登録が必要です。

（※各サービスの詳細はホームページに掲載しています。併せてご覧ください。）

バリアフリー読書展示会

12月の障害者週間に合わせ、バリアフリーな読書を支える様々な本や資料、ツールを紹介する展示会「見て、聞いて、楽しむ！バリアフリー読書」を開催します。

【日時】

令和3年11月25日（木）～12月12日（日）
火曜～金曜：午前9時30分～午後7時
土曜・日曜：午前9時30分～午後5時
※月曜日は休館日です。

【会場】県立図書館エントランスギャラリー
（参加無料、申込み不要）

展示では、デジータ図書や大活字本、LLブックなどの資料を展示するほか、バリアフリーな読書についてポスターで御紹介します。また、文字を大きく表示する拡大読書機や、1行ごとに集中して読むことができるリーディングトラッカーなど、読書サポートツールについても御紹介します。



【昨年の展示の様子】

※感染症の感染拡大の状況によっては、変更・中止となる場合もあります。



読書バリアフリーコーナー

家庭とこどもの本コーナー内に、「読書バリアフリーコーナー」を今年6月から設置しています。

通常の本では読書が難しいと感じている方にむけて、読みやすい工夫がされた本をそろえています。

置いてある本は、主に児童向けの内容となっておりますが、どなたでも貸出できます。団体貸出で利用することもできます。



【読書バリアフリーコーナーの様子】

コーナーには、次のような資料が置いてあります。

1 大活字本

通常の本よりも大きな文字で印刷された本です。小さい文字を読むのが難しいと感じている方におすすめです。

コーナーには、児童書シリーズ「青い鳥文庫」を大活字で印刷した「大きな文字の青い鳥文庫」を中心に、約130冊の大活字本があります。あさのあつこ『風の館の物語』や小林深雪『泣いちゃいそうだよ』シリーズなどの人気作品から、『銀河鉄道の夜』や『赤毛のアン』、『三国志』などの読み継がれてきた名作まで多くの作品があります。

なお、大人向けの大活字本は、別のコーナーに約1,700冊あります。

2 点字付き絵本

点字が付いている絵本です。文だけでなく、絵の部分もさわって分かるようになっています。絵が見えるお子さんも、見えない・見えづらいと感じているお子さんも、一緒に楽しめる絵本です。『ぐりとぐら』や『しろくまちゃんのほっとけーき』など、約30点があります。

3 LLブック

やさしい日本語を使い、ピクトグラム（動作などを表した絵）や写真を使って分かりやすく書かれた本です。

長い文章を読むのが苦手と感じている方をはじめ、日本語が得意でない方や、知的障害のある方にも読みやすいよう工夫されています。障害のある方の仕事や働き方を紹介する『仕事に行ってきます』シリーズや、物語『さんびきのこぶた』など、約20点があります。

今後、マルチメディアデイジー図書（絵・音声・テキストで読めるデジタル資料）も追加していく予定です。

なお、御希望に応じて、これらの資料の資料一覧をお送りすることもできます。詳しくは県立図書館障害者サービス担当までお問い合わせください。

おわりに

子どもたち一人一人が自分にあった読書の方法を見つけていけるよう、多様な資料の収集など、今後も取組を続けていきます。関心をお持ちの方は、お気軽に県立図書館まで御連絡ください。

県立図書館

〒950-8602 新潟市中央区女池南3-1-2

TEL 025-284-6001（代表） FAX 025-284-6832

URL <https://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/>

令和3年度全国高等学校総合体育大会「輝け君の汗と涙 北信越総体 2021」開催報告

保健体育課

9年ぶりの新潟県開催

夏のインターハイが本県を含む北信越5県及び和歌山県において7月24日(土)～8月24日(火)の32日間の会期で開催され、本県では2012年以来9年ぶりの開催となりました。

全30競技に選手・監督・コーチ約35,000人が参加し、本県では4市において体操(体操競技、新体操)、バスケットボール、相撲、弓道の4競技5種目が開催され、約4,400人が参加しました。全競技を原則無観客とし、感染予防を徹底した競技運営により、すべての大会を最終日までやり遂げることができました。

大会を支えた高校生

開催期間中は、競技開催地の学校と各開催競技の部員を中心に約1,700人の生徒が、各競技の競技・運営補助員として大会を支え、来会された方の思い出に残る大会となるよう一生懸命業務に取り組みました。

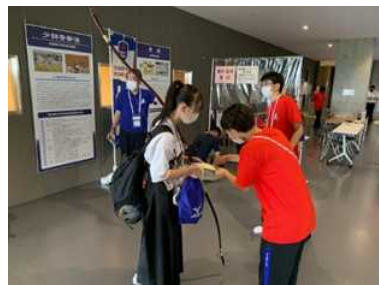
大会前の競技会場設営や大会当日の受付、場内アナウンス等で大会運営を補助し、競技の補助員として事前に研修会を重ね、丁寧かつ正確な運営で大会に貢献しました。



【会場設営の様子】



【コート整備の様子】



【受付で検温済シールを貼る様子】



【場内アナウンスの様子】

また、県内農業高校等で心を込めて育てたニチニチソウやサルビアなどのプランター草花で競技会場入口を彩り、歓迎の意を表しました。



【競技会場入口の様子】

大会成績

新潟県からは29競技に673人の選手が参加し2年前の優勝数・入賞数を上回る結果となりました。

() は令和元年度

優勝数	入賞数	合計
2 (1)	28 (17)	30 (18)



<新潟県選手団 入賞一覧>

【優勝】

- 陸上競技
男子400m 鈴木 大翼 (新潟明訓③)
- ボクシング
ウェルター級 増田 祐士 (開志学園③)

【2位】

- 陸上競技
男子5000m競歩
近藤 岬 (十日町③)
男子砲丸投 渡辺 豹冴 (開志国際②)
- バスケットボール男子
帝京長岡高等学校
- 自転車競技
3kmインディヴィデュアル・パーシュート
池田 悠生 (吉田③)
チームスプリント
吉田高等学校
学校対抗 (総合)
吉田高等学校
- ボクシング
ミドル級 羽賀 勇二 (新潟向陽③)

【3位】

- 陸上競技
女子800m 鈴木 結菜 (新潟第一②)
- サッカー女子 帝京長岡高等学校
- 自転車競技
個人ロードレース
池田 悠生 (吉田③)
学校対抗 (トラック)
吉田高等学校
- ボクシング
ライトウェルター級
六井 和 (開志学園②)

【4位】

- 自転車競技
学校対抗 (ロード)
吉田高等学校

【5位】

- 陸上競技
女子ハンマー投
岩城 雛乃 (新発田南③)
- 水泳 (飛込)
男子高飛込 藤田 優 (新潟②)
男子学校対抗 新潟高等学校
- 水泳 (水球) 新潟産業大学附属高等学校
- バスケットボール女子
開志国際高等学校
- 剣道
女子個人 長澤 彩紗 (五泉②)
女子団体 五泉高等学校
- レスリング
60kg級 及川 丈尊 (八海②)
- ボクシング
学校対抗 開志学園高等学校

【6位】

- 陸上競技
女子5000m競歩
山岸 芽生 (十日町③)
- 水泳 (飛込)
男子飛板飛込 藤田 優 (新潟②)

【8位】

- 陸上競技
男子円盤投 渡辺 豹冴 (開志国際②)
男子4×100m R
新潟明訓高等学校
男子4×400m R
新潟明訓高等学校
- カヌー
女子カナディアンシングル500m
沖野 星 (分水②)



【地元長岡市で開催されたバスケットボール男子で準優勝した帝京長岡高校】

インフォメーション

● 県立近代美術館（長岡市）

コレクション展第3期

〔展示室1・2〕 “ものがたり” をめぐって

故事や神話、聖書などを題材にした作品や、絵本・小説の挿絵に加え、制作にまつわる様々なエピソード（物語）をもつ作品など、所蔵品の中から「物語」をキーワードに作品を展示します。

〔展示室3〕 田畑あきら子 火だるまのなかの白い道

西蒲原郡巻町（現在の新潟市）に生まれ28才の若さで亡くなった田畑あきら子（1941-1969）。当館所蔵の作品をまとめて展示し、画業を振り返ります。



田畑あきら子《作品》1966-67年

- 会 期 開催中～12月12日（日）
- 会 場 コレクション展示室
- 休 館 日 毎週月曜日
- 開館時間 午前9時～午後5時
（観覧券の販売は午後4時30分まで）
- 観 覧 料 一般430円（340円）
高校・大学生200円（160円）
中学生以下無料

● 県立万代島美術館（新潟市）

企画展 「コレクター福富太郎の眼 昭和のキャバレー王が愛した絵画」



岡田三郎助《ダイヤモンドの女》1908年
福富太郎コレクション資料室

昭和の「キャバレー王」として知られた福富太郎氏（1931-2018）は、事業の成功のかたわら美術品を長年蒐集し「福富太郎コレクション」を築きました。本展覧会では、その傑出した人物像にも焦点をあてながら、蒐集のきっかけとなった鏑木清方を代表とする美人画や黎明期の洋画など、福富氏がこよなく愛した絵画とその魅力をコレクターの審美眼をとおして御紹介します。

- 会 期 開催中～11月7日（日）
- 休 館 日 会期中無休
- 開館時間 午前10時～午後6時
（観覧券の販売は午後5時30分まで）
- 観 覧 料 一般1,600円（1,400円）
高校・大学生1,300円（1,100円）
中学生以下無料

※11月8日（月）～1月19日（水）まで、展示替えのため休館します。

※（ ）内は有料20名以上の団体料金です。

※障害者手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。受付で御提示ください。

【お知らせ】

- ・マスクの着用にご協力をお願いします。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況により、開催内容に変更が生じる場合もございます。最新の情報は美術館ウェブサイト等で御確認ください。

県立近代美術館
住所 長岡市千秋3丁目278-14
TEL 0258-28-4111
URL <https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

県立万代島美術館
住所 新潟市中央区万代島5-1 朱鷺メッセ内
万代島ビル5階
TEL 025-290-6655
URL <https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

※PDFファイルで御覧の方は、下線部(Webページアドレス)をクリックすると、直接該当Webページにジャンプしますので御活用ください。
※県ホームページからバックナンバーも御覧いただけます。
「新潟県 教育月報」で検索してください。

教育月報 

発行所 新潟県教育庁総務課
所在地 〒950-8570
新潟市中央区新光町4番地1
TEL 025-280-5587
FAX 025-285-3766
E-mail ngt500010@pref.niigata.lg.jp
URL

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/>
本紙に関する御意見がありましたら、お寄せください
<無断転載を禁ず>